

## 平成 29 年度 バックエンド部会賞 受賞者

(1) 功績賞 (バックエンド分野において幅広くかつ顕著な貢献のあった個人、毎年 1 名以内)

**受賞者名** : 大江俊昭氏 (東海大学)

**選考理由** : 放射性廃棄物処理・処分の分野において、基礎科学的観点からの本質的な研究成果を長年にわたり国内外に発信し、バックエンド研究分野において顕著な業績と評価される。また、日本原子力学会バックエンド部会長 (1999 年から 2001 年) を始め、バックエンド分野の技術開発や政策立案に関わる各種の委員を歴任し主導的な役割を果たすとともに、東海大学工学部原子力工学科において多くの学生を指導し、優秀な人材をバックエンド分野に輩出していることは、顕著な功績に値すると認められる。

(2) 業績賞 (バックエンド分野において顕著な学術または技術上の業績のあった個人またはグループ、毎年 2 名以内もしくは 1 グループ以内)

該当者なし

(3) 奨励賞 (バックエンド分野において顕著な学術または技術上の業績のあった概ね 40 才までの個人、毎年 3 名以内)

該当者なし

(4) 優秀講演賞・学生優秀講演賞 (バックエンド分野に関する、日本原子力学会またはバックエンド部会が主催もしくは共催する行事において優れた口頭発表をおこなった個人、両賞とも各行事で原則 1 件以内)

○ 優秀講演賞

**受賞者名** : 齊藤拓巳氏 (東京大学)

**選考理由** : 2017 年春の年会の口頭発表 1H12 「坑道再冠水後の地下水コロイドのサイズ・元素組成」について、「優秀講演賞」の評価基準に基づく採点の評価結果による。

**受賞者名** : 榎本敦子氏 (日立製作所)

**選考理由** : 2017 年秋の大会の口頭発表 2D07 「機器の 3D 形状モデルによる解体順序生成システムの開発」について、「優秀講演賞」の評価基準に基づく採点の評価結果による。

○ 学生優秀講演賞

**受賞者名** : 中村陸氏 (東京工業大学)

**選考理由** : 2017 年秋の大会の口頭発表 2D03 「廃止措置のためのコンクリート透過計算に関する研究(2)」について、「優秀講演賞」の評価基準に基づく採点の評価結果による。

(5) **ポスター賞** (バックエンド分野に関する, 日本原子力学会またはバックエンド部会が主催もしくは共催する行事において優れたポスター発表をおこなった個人、各行事で原則 1 件以内)

**受賞者名**: 山門鋼司氏 (九州大学大学院)

**選考理由**: 第 33 回「バックエンド」夏期セミナー (2017 年 8 月) ポスターセッションの発表 po05 「福島第一汚染水処理で発生する Cs 吸着ゼオライト廃棄物のガラス固化に関する基礎研究」についての評価結果による。

**受賞者名**: 川久保政洋氏 (原子力環境整備促進・資金管理センター)

**選考理由**: 第 33 回「バックエンド」夏期セミナー (2017 年 8 月) ポスターセッションの発表 po08 「有限要素法によるオーバーパックの破壊評価」についての評価結果による。

(6) **論文賞** (部会誌「原子力バックエンド研究」に掲載された過去 3 年間の論文、毎年 1 編以内、複数の論文が一連となっている場合は 1 編とみなせる)

**受賞者名**: 大江俊昭氏 (東海大学)、若杉圭一郎氏 (JAEA)、大滝裕也氏 (東海大学)、高橋裕太氏 (東海大学)、助川篤彦氏 (量子科学技術研究開発機構)

**選考理由**: 部会誌「原子力バックエンド研究」Vol.24-1 (2017.6) に掲載の論文「地層処分人工バリアの設定値に関する考察」について、「論文賞」の評価基準に基づく採点の評価結果による。

(7) **功労賞** (バックエンド部会の発展に顕著な功労のあった個人、毎年 2 名以内)

該当者なし